

児童発達支援センター青い鳥

放課後等デイサービス青い鳥

事業所自己評価

令和4年11月1日 実施

社会福祉法人 相模福祉村

児童発達支援センター青い鳥

放課後等デイサービス青い鳥

児童発達支援自己評価表

記入日：令和4年11月1日

児童発達支援センター青い鳥

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>		<p>○子どもたちの変化に合わせて遊び等の空間を変化させて工夫している</p> <p>○鍵の開閉時に子どもと手を離すと走り出す場面もあるため、手の繋ぎ方や声かけをして工夫している</p> <p>○朝の体操プレイルーム等多くの人数が集まる場面での感染対策を配慮している。</p> <p>○活動の様子やトイレなどの様子をが外からも確認できる環境を維持し開放感のある運営を行っている。</p>
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>		<p>○職員同士が声を掛け合い、通所する子どもたちを全職員で支援していく体制、姿勢を大切にしている。</p> <p>○クラス内での記録や教材準備等の役割分担、休憩の分散、記録の分担など簡素化を工夫している。</p>
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	<input type="radio"/>		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		<p>○自分や職場の感覚だけでなく本や資料からも学び自己研鑽に努めている</p> <p>○個々に応じた支援がされている。やり方は一つではないので、試行錯誤し、その児に合う、型にはまる支援方法を見出せる様に工夫している。担任が抱え込まないよう一緒に考え取り組めるような環境に配慮している。</p> <p>○事前に月案にて活動プログラムを設定し、プログラムに沿った支援を実施している。</p> <p>○クラス、職員会議の他、朝礼、夕礼などでクラスや児童の情報を共有している。</p> <p>○活動の設定をテーマに内部研修を定期的実施している。</p>
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	<input type="radio"/>		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	<input type="radio"/>		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	<input type="radio"/>		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	<input type="radio"/>		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	<input type="radio"/>			

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		○子育て支援センターをはじめ、必要に応じて様々な機関とのケース会議や情報交換を実施している。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○必要に応じて、幼稚園や保育園、学校等と情報交換や連携会議などを行っている。 ○今年度より幼稚園との交流を実施。今後も定期的に取り組む予定。 ○保護者の悩みを引き出せるように、雑談など「日常」を意識して会話を進めている ○小さな出来事でもその日のうちに連絡するように意識している。 ○保護者とは、月1回の登園日や行事などで、お子さんの様子を直接見学してもらい、2週間に1度は電話連絡をして情報共有している。個別面談以外にも必要があれば、直接話をする機会を設定している	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○			
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			○けが、体調、質問への回答、最近の様子などは丁寧に伝えるように努力している ○いま、通所されている保護者はもちろん、卒園された保護者の方からのご相談にも迅速に対応する努力をしている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		<p>○毎月の避難訓練や年1回の引き取り訓練を実施している。</p> <p>○虐待防止委員会を設定し、虐待防止への周知や取り組みを行っている。</p> <p>○不適切保育や虐待的な対応とならない様に、職員同士声を掛け合っている。</p>
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○		

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。

記入日： 令和4年11月 1日

回収率 73% (30/41)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29	1	0	0	<p>○いつもキレイで明るくて、家とは比べ物にならないくらい清潔な空間、どの先生にお会いしても忙しそうであっても、笑顔で声をかけてくれて子供も笑顔で居られるので安心しています。</p> <p>○一般的な公園や幼稚園、保育園などにある遊具が敷地内にあるといい。</p> <p>○障害の特性上、室内での活動が中心になるのは仕方ないことかと思いますが、もう少し日に当たる時間が増えるといいなと思います。</p> <p>○一人ひとりの子どもをよく見てくれていると感じます。</p>
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	28	1	0	1	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ⅰになっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	2	0	0	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29	0	0	1	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ⅱが作成されているか	28	1	0	0	<p>○毎日同じ事を行うことで安心感を得るタイプの子供ですが、そのなかでも少し違う刺激を取り入れたり、興味を広げるための工夫を重ねてください、そのおかげで食べられるもの、遊びの種類が増え、できることも多くなってきました。</p> <p>○支援計画にきちんと保護者の意見も組みられています。</p>
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	1	0	4	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	0	0	1	
	8	活動プログラム※ⅲが固定化しないよう工夫されているか	27	2	0	0	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	21	5	4	0	
保護者 への 説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	0	0	0	<p>○年に数回行われる面談だけでなく、電話での普段の様子や伝達などで、実際に自身の目で確認できない時でも、園内でどのように過ごし、こどもの成長や課題のために小さな取り組みを毎日コツコツと行ってくださり、家庭だけでは行き詰まる部分をたくさんサポートして頂けて、なおかつ親の心理的な不安などにも寄り添って頂けて感謝しかありません！</p> <p>○保護者の希望者のみでの自由に話せる機会がもっとほしい。</p> <p>○親子登園だと子供と一緒になので保護者同士でゆっくり話したりすることができないので、7月に行なった父親参観のように母親同士の交流の機会を設けてもらいたい。</p> <p>○保護者登園日の時に色々お話しさせて頂いたり、お電話で最近の様子等を報告してくれたりするので、困っている事は特に無いです。</p>
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	29	0	0	1	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング※ⅳ等)が行われているか	29	1	1	2	
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28	0	0	2	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	0	0	0	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	20	5	0	4	

保護者への説明等	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	25	0	0	5	
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	27	1	0	2	
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	0	0	1	
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	25	2	0	3	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	24	3	0	3	○非常時で迎えに行けない状況でも子供をその間保護する方法などを保護者に教えて欲しい。 ○非常時の対応への意見では無いのですが
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	21	1	0	8	定期的に避難訓練等を行なって頂けたらと思います。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	24	3	0	3	○本人はもちろん毎日通うのを楽しみにしていて、楽しそうなこどもの様子を見て私たち親も嬉しく思っています。家、家族以外に楽しい、安心できる場所を作っていただけたことは、子供の精神的な面でも大きく安定を生んでいることと思います。 ○娘の特性や課題についても先生方皆さんが前向きに言って下さりなかなか家では経験出来ないことを沢山やらせていただいたり、とにかく娘の笑顔や楽しさを考えて下さり、本当に感謝しかありません。 ○手厚く支援をしていただき、特に13についてはこまめに連絡をいただき、大変感謝しております。いつもありがとうございます。お世話になっております ○子供が楽しんでいる姿や、色んな事の成長を目で見て感じる事が出来ているので大変満足しております。
	23	事業所の支援に満足しているか	30	0	0	0	

※ i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

※ ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

※ iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

放課後等デイサービス自己評価表

記入日: 令和4年11月1日

放課後等デイサービス青い鳥

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		○目的に合わせたクラス分けを行うなど日課の中で工夫している
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		○目標設定や振り返り等の時間を確保できるように工夫している。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		○役割やお手伝いを設定し称賛される経験に繋げている ○色々な子(学年も能力も違う子達)がいる中で、皆で楽しめる課題を探したり、短い時間の中で臨機応変になったりもするが、工夫したりしている。 ○事前に月案を作成し、計画に沿ったプログラムで活動を行っている。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		
保護者との連携	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		

関係機関や保護者との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			<p>○保護者とはなるべく送迎時に状況をお伝えできるようにしているまた、必要な連携は電話も活用している。</p> <p>○今年度より保護者に活動の様子を知っていただくため、保護者見学会を実施</p> <p>○年2回、臨床心理士(SV)による研修を定期実施している。</p>
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		<p>○リハ職とも、必要時には情報交換や意見交換を行い支援に活かしている。</p> <p>○懇談会、登園日等、保護者の交流の場の希望もあるため、今後検討していきたい。</p> <p>○臨床心理士の先生による心理相談を受け付けている</p>
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか		○	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		<p>○虐待防止のための外部研修に参加している。</p> <p>○保護者と連絡が取れない場合に備えたルールの改善等を工夫している。</p> <p>○防災訓練がマンネリ化しないように変化を持たせる工夫を検討中。</p>
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		

保護者等向け

放課後等デイサービス評価

令和 4年 11月 1日

回答率 52% (22/42)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21	0	0	1	○とてもいい環境で過ごせていると感じます。 広々とした、素晴らしい環境に満足しています。 ○放課後デイサービスの人手が足りない事で、 利用する事が出来なくなるような事にならない で欲しいので、ボランティアスタッフ等保護者が 協力出来る事があるなら言って欲しいと思いま した。 ○屋上やホール、中庭などがあり、体を思い切 り動かす事ができる場があって環境が整って いて良いと思います
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	19	1	0	2	
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設 置などバリアフリー化の配慮が適切になさ れているか	19	1	0	1	
適切 な支 援の 提 供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に 分析された上で、放課後等デイサービス計 画※ i が作成されているか	21	0	0	0	○公園に遊びに行くような活動がたまにあると よいですね。
	5	活動プログラム※ ii が固定化しないよう工 夫されているか	20	2	0	0	
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	6	7	
保護 者へ の説 明等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な 説明がなされたか	22	0	0	0	○放課後デイの見学会が10月にありましたが、 7月8月頃に見学会があればもっとよかったな と思いました。子供の様子を電話で聞いていた だけだったので、見学会で先生方の対応の様子 とかを見て、仕事の大変さを知りました。 ○送迎時に当日の様子を伝達して頂けますし、 個人面談、見学会などもあり以前に比べて保 護者に対する支援も満足しています。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解ができているか	19	3	0	0	
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言 等の支援が行われているか	20	1	1	0	
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援され ているか	8	4	6	4	
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知・説明し、苦情があった場合に迅速か つ適切に対応しているか	14	8	0	0	
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達 のための配慮がなされているか	21	1	0	0	
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概 要や行事予定、連絡体制等の情報や業務 に関する自己評価の結果を子どもや保護者 に対して発信しているか	19	2	1	0	
14	個人情報に十分注意しているか	18	0	0	3		

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2	11	0	○避難訓練があってもいいんじゃないかな？と思います
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8	1	2	10	
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	21	1	0	0	青い鳥での最高学年になり、複数年にわたる支援により、本人もかなりの力をつけて来ています。先生とのやり取り、お友達との関わりなど、家庭では気付けないようなサポートに感謝しております。 いつもお世話になっています。 ありがとうございます。 あと一年で放課後デイも卒園となるので寂しいですね。いつまでも通っていたいと思える素敵な園です！ お友達に会えるのも嬉しいようで、利用日は毎回楽しみにしております。 3歳の頃から通っているので通い慣れているのと先生達が子供のことをよく理解してくれて、とても親切なので安心して預けられます。 現状の支援でとても満足しています。 日頃から子供達が楽しめるように色々な取り組み方を考えて下さって非常に感謝しています。 今後もよろしく願いいたします。
	18	事業所の支援に満足しているか	21	1	0	0	

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。